

白山市発達相談センターだより

第 3 号
H28年8月
発行

白山市発達相談センターとは…

白山市では、発達障害などで乳幼児期や学齢期のお子さんの発達について悩んでいる保護者の方をはじめ、就労や人間関係などのつまずきを抱えている方の相談に応じ、保健・教育・福祉・就労・医療関係部署と連携をとりながら、発達障害の早期発見と継続かつ一貫した支援を行っています。

それぞれのライフステージ（年齢）に合った支援をするための体制整備や取り組みの充実を図り、一人一人が安心して生活できることを願いながら進めています。



【お知らせ ①】 特別講演会

「発達障害、特に自閉症スペクトラムの子どもの理解と支援 ～二次障害の予防・気づき・対応～」

日時 **9月3日（土）** 13:30～15:30

場所 **白山市福祉ふれあいセンター 2階大会議室**（白山市倉光八丁目 16 番地 1）

講師 **金 泰子（きむ やすこ）** 先生
大阪医科大学附属病院 小児科 医師

5月

♪ ミュージックケア ♪

講師
日本ミュージックケア
協会 認定指導者
吉田茂樹先生をお招
きました。

参加者の声

- ♪子ども達の笑顔がたくさんみられたので、よかったですと思います。子ども主体の関わり方を教わり、勉強になりました。継続して行うことが大切だと思います
- ♪親子で楽しみながら過ごす中で、注意力、集中力、自己コントロール、時間的概念と培われるプログラムになっていたことにとても驚きました！
- ♪今日の遊びの中にもたくさんの目的・要素が含まれていると分かり、とても興味深かったです。生活の中に、音楽を取り入れたいと思いました。
- ♪集団の中での子どもの様子がみれて良かったです。集中力、注意力を音楽に合わせて引き出すことのおもしろさを実感しました。



次回

12/14（水）10時～11時

参加をお待ちしております！





☞ 支援者向け研修会「学齢期 気になる子ども達～どう受け止め、どう理解し、どう関わるか～」

講師 社会福祉法人 金澤手をつなぐ親の会 障がい児拠点児童クラブ「すずかけクラブ」主任 笠合 竜明氏

内容 学童（児童クラブ）、児童館、放課後等デイサービス等の職員を対象に、知的障害、発達障害の基礎知識についてや、支援者の意識（心がけたいこと・視点）、アプローチ方法についてお話しいただきました。どういう時にできて、どういう時にできなかったのか両方をしっかり評価することで、法則が見えてきます。そこから見えてくる本人の特性に配慮した手立て（工夫）をし、環境を整えていくことが、単なる心配りではなく、根拠のある支援となることを教えていただきました。



参加者の声（支援者）

☆A君を『自閉症のA君』とみていた事が分かりました。これからは、『A君』自身を見ていき A君の持っている自閉症はどういったものかという事を見つけていきたいです。

☆頭ごなしに「あれダメ！それダメ！」と注意しても分かってくれるようには見えず、『この子は自閉症だから、怒らない方がいいのか？』でも、そうしたら差別しているのか？と色々と不安でした。しかし、今後はA君のペースに合わせて、出来ること、出来ないことを自分から探していこうと思いました。

☆平等ではなく、公平に支援する大切さが分かった。

☞ 就学サポート相談会「就学の流れについて」

講師 学校教育課 指導教育主事 小川 正清氏



内容 就学サポート相談会の4回シリーズの2回目でした。就学後の支援の内容（特別支援教育支援員、特別支援学級、通級指導教室、特別支援学校）説明や就学のスケジュール、どのような準備が必要かご講演いただきました。

参加者の声

- 今後の流れが、日程にそって示されている為、見通しが立てやすかった。
- 就学に向けて、保育園だけに任せるのではなく、家庭でも意識して取り組んでいかないといけないなと改めて感じました。
- 漠然としたイメージでしか頭に入っていなかった特別支援の在り方が分かりやすく説明されていて良かった。



次回 9/27（火）13時30分～15時「保護者体験談と放課後の過ごし方」



☞ 支援者向け研修会「発達障害(自閉症スペクトラム障害)のある子がいるクラスづくり」

講師 金城大学短期大学部幼児教育学科 山田紀子氏

内容 保育現場のなかで、子どもの気持ちに寄り添っての具体的なアドバイス（子どもが何に困っているのかさぐりながら生活しやすい環境を設定すること。大人が見方を変えることで子どもが変わることなど）をご講演いただきました。



参加者の声（支援者）

♥ 幼児期だけでなく、発達障害の子のその後（就学後、大人になってから）の話が聞けて良かったです。皆の中に無理に引っ張らず、その子に寄りそっていく保育を心がけていこうと思いました。

♥ その子の特性を生かすや保育者自身の意識を変えることを意識することが大切だと感じました。



支援ツール作成会(5回シリーズ)

主催 つみきの会&発達相談センター

内容 「支援ツールは、必要、便利ってわかっているけど、作り方がわからない」「子どもにどんなツールが合うのか知りたい」そんな声にお応えし、子ども達の世界と周りをつなぐ架け橋”支援ツール”作成会を企画しました。



第1回「講義・支援ツール概論」

講師 日本ポーター協会 小坂 正栄氏

内容:支援ツールを作成する前に、まずは基本を学びました。

発達障害などのある人の中には、「言葉」を聞いて理解するよりも、目で見て理解することが得意な人がいます。目に見えにくい予定・手順・時間・約束・ルール・気持ち・概念などを、視覚的に「見える・わかる・考えやすい」ように工夫したものが支援ツールです。そして、支援がうまくいくためには、「関わる人の理解と愛情」だと教えていただきました。



第2回「DVD視聴・スケジュール作成の準備」

講師 つみきの会 相談役 柿木 晴美氏

内容:香川大学教授 武蔵博文氏監修によるDVD視聴では、子ども達が支援ツールを使って自分の力を発揮しながら生き生きと学校生活を送る姿を見たり、ツールを作っている保護者の声を聞いたりし、小坂先生の講演会を改めて復習する機会にもなりました。

それらを踏まえ、いよいよスケジュール作成です！「つみきの会」の柿木氏に、支援ツール作成の準備として、まず「子どものことを改めて知ることが大切」だと教えていただきました。



第3回～第5回「スケジュール作成・オリジナルグッズの作成・発表会」

講師 つみきの会 相談役 柿木 晴美氏、発達相談センター 保育士 長田 直美

内容:まずは、支援ツールの基本であるスケジュール作りからスタート。そして、次はオリジナル支援ツール。グループワークなので、アイデアやネット情報などを伝え合いながら、和気あいあいと進みました。

最終日には、発表会を行い、ドキドキしながらも、ツールを見せながらお子さんへの願いやツールの使い方などを発表。自分達の作品を綴った「愛情たっぷり！思いっきり支援ツール」もできあがりしました♡



参加者の声（保護者）

- 子どもに対して、いつも同じ事を言い続ける労力と、支援ツールを作る知恵と労力と、勇気とチャレンジ。小さな一歩からトライしたい。楽しみながら、めげずに。小坂先生の講演会は3回目で、何度聞いても「気付き」がある。
- グループワークだったので、アドバイスやヒントがたくさんもらえた。他の人の工夫などが自分のツールにも役立ち良かった。皆さんのアイデアがすごい！！
- ツールを作る意味や目的など勉強させていただき、とてもよかった。今までは、勧められて作るが多かったが、これからは、本人にとって必要な物は何かを考えてみようと思った。

平成25～27年度白山市発達相談センターの相談件数報告



◇小松市、かほく市に続き、県内で3番目に発達に特化した市の相談機関として白山市発達相談センターが設立し3年が経ち、相談件数が年々増加しております。

◇これからも市民の皆様にご相談しやすい場として努めてまいりたいと思います。

【お知らせ②】 **特別講演会** 🍤 • 🐙 • 🧊 • 🐟 • ⭐ • 🍤 • 🦀 • 🐟

「発達につまずきのある子とのコミュニケーション

～言語聴覚士の立場から～」

日時 **10月15日(土)** 13:30～15:30

場所 **白山市福祉ふれあいセンター 2階大会議室** (白山市倉光八丁目16番地1)

講師 **湯汲 英史(ゆくみ えいし)** 先生

(社)発達協会 常務理事 言語聴覚士/精神保健福祉士

～お知らせ①②特別講演会の参加申し込みについて～

お電話かFAXで、①お名前 ②ご連絡先 ③講演会に参加希望 とご連絡ください。

幼児期・学齢期(思春期)を中心に発達障害の理解や支援について関心のある方ならどなたでも参加できますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

白山市発達相談センター
〒924-0865
石川県白山市倉光八丁目16番地1
Tel076-276-8819 Fax076-276-6291
白山市発達相談センターだよりは
白山市ホームページからダウンロードできます。



ほっちゃんから一言
次回の発行は、平成
28年11月だよ♪
またね!